



自然を生かした「本山」のふるさとづくり

山陽小野田市の最南端に位置する本山地区は、竜王山を背景にして、周防灘を一望できる自然に恵まれたところです。本山岬の奇岩や海岸段丘、焼野海岸を利用したきららビーチ、桜の名所竜王山からの展望など、見どころいっぱい素敵なおところです。

この起伏に富んだ景観や、点在する史跡を巡る「竜王山ウォーク」は、ふるさとを学ぶイベントとして毎年10月に開催していますが、年々参加者が増えています。



一昨年、本山地域に生息するコゲラ（小鳥）、ヒメボタル（昆虫）、モリアザミ（山野草）クロガネモチの大木（樹木）を本山校区のシンボルに制定しました（左デザイン）。多くの人に知ってもらうこ

とはもちろん、これらの貴重な自然の保護とよりよい生育環境づくりを目指しています。

本山校区は、こじんまりした校区なので、まとまりやすく、たくさんの方が協力しあって色々な行事を盛り上げています。

みなさん、本山にぜひお越しください。お待ちしております。



▲竜王山ウォーク



税金あれこれ

～「入湯税」と「市たばこ税」～

市の主な収入となる税金のうち「市民税」や「固定資産税」などは市民のみなさんから直接お支払いいただく直接税ですが、その他にも間接税として「入湯税」や「市たばこ税」があります。

「入湯税」とは、温泉などの鉱泉浴場を利用する場合、その入湯行為に対してかかる税金で、鉱泉浴場が存在する市町村が課税し、環境衛生施設や消防施設、観光施設などの整備に充てられています。税金は、鉱泉浴場の経営者などが、入湯客から施設利用の料金とともに徴収し、市に納めていただいています。税率は宿泊入湯客が1人1泊150円、日帰り入湯客が1人1日50円ですが、12歳未満の人は免除となっています。

次に、たばこは「国・県・市たばこ税」と「たばこ特別税」がその販売価格に含まれて課税されています。税制改正に伴い、7月1日から、たばこ1本につき3.298円（旧3級品は1.564円）が「市たばこ税」として市に納められることとなります。

このように、「入湯税」や「市たばこ税」も、貴重な市の財源となっているのです。（税務課）



理大つうしん 16

<http://www.yama.tus.ac.jp>

オープンキャンパスのお知らせ

本学では、毎年、オープンキャンパスを開催しており、今年は、7月23日(日)に行います。皆さんお気軽にご参加ください。（2回目は10月1日(日)）

今回は、午後も先端技術体験学習を行います。様々な実験や実習を楽しんでください。

◇キャンパス見学（参加自由）11:00～16:00

- ①研究室紹介 ②模擬授業 ③模擬実験
- ④インターネットコーナー ⑤先パイと語りあおう！
- ⑥最新機器を見てみよう！ ⑦なんでも相談コーナー
- ⑧学食体験 ⑨キャンパスツアー

◇先端技術体験学習（予約制）

11:00～12:30, 13:30～15:00

- ①低温の世界と超伝導現象
- ②「こま」をまわそう
- ③コンピュータアニメーション
- ④ロボットはどのようにして動くのだろう？
- ⑤排ガスに含まれる有害物質の検出
- ⑥環境にフレンドリーな燃料電池
- ⑦光を調べてみよう
- ⑧生命の設計図、DNAを見よう
- ⑨原子クラスターを観察してみよう
- ⑩C言語によるソートとサーチ
- ⑪生体超分子の立体構造
- ⑫太陽電池を作ってみよう

■問い合わせ・申込先 学務課 (☎ 88-3500)

E-mail ygakumu@admin.tus.ac.jp